

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子/安中 松太郎
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	開講区分	前期	
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的意識を高め、プロに必要なことが何か確認する。同じ目標を持った仲間との相互支援環境を作る					
到達目標	プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、安心、安全な場を作る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	手帳(スケジュールがわかるもの)・筆記用具					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るよう意識をする					
●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容のプロを目指す上で① -振り返りと個人目標設定-	オリエンテーションや導入教育を振り返り、目標を再確認する。 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し、理解することができる。 ITリテラシー実施
2	美容のプロを目指す上で② -学校ルールの再確認と業界研究-	学校ルールを再確認し、スムーズに学校生活を送れるようにする。 業界研究について学び、将来の準備ができるようになる。
3	職業研究	ヘアメイクアップアーティストの仕事内容を理解する
4	業界研究①	ヘアメイクになる為の流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	現場実習について	現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる
7	中間試験	入学してからを振り返り、学んだこと・今後身に付けていきたいことをまとめる
8	美容のプロを目指す上で③ -現場実習と今後の目標設定-	入学時の目標を振り返り、現時点での目標を再設定する 現場実習についての注意点を確認し、現場実習に臨む心構えが出来るようになる
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
11	夏休みにあたっての注意事項	長期休暇を過ごすにあたり、今後やるべきことを整理する コンテストについて
12	グループ学習(夏休み課題の振り返り)	グループ学習を通して、発表する力を身に付ける 職業理解を深めるために、体験学習の意図を理解し主体的に授業に参加する
13	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
14	業界研究③	ヘアメイク業界について、様々な視点から調べ、業界を理解する
15	定期試験	入学してからを振り返り、後期に向けやるべきことを整理する

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I Career Development I	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子/安中 松太郎
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2			曜日・時間
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にする。プロになるために自己管理が出来るようになる。					
到達目標	プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることができる 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出すことができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。
教材	手帳(スケジュールがわかるもの)・筆記用具					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	美容のプロを目指す上で① -振り返りと個人目標設定-	オリエンテーションや導入教育を振り返り、目標を再確認する。 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し、理解することができる。 ITリテラシー実施				
2	美容のプロを目指す上で② -学校ルールの再確認と業界研究-	学校ルールを再確認し、スムーズに学校生活を送れるようになる。 業界研究について学び、将来の準備ができるようになる。				
3	職業研究	ヘアメイクアップアーティストの仕事内容を理解する				
4	業界研究①	ヘアメイクになる為の流れを理解し、方法を学ぶ				
5	業界研究②	ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる				
6	現場実習について	現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる				
7	中間試験	入学してからを振り返り、学んだこと・今後身に付けていきたいことをまとめる				
8	美容のプロを目指す上で③ -現場実習と今後の目標設定-	入学時の目標を振り返り、現時点での目標を再設定する 現場実習についての注意点を確認し、現場実習に臨む心構えができるようになる				
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する				
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する				
11	夏休みにあたっての注意事項	長期休暇を過ごすにあたり、今後やるべきことを整理する コンテストについて				
12	グループ学習(夏休み課題の振り返り)	グループ学習を通して、発表する力を身に付ける 職業理解を深めるために、体験学習の意図を理解し主体的に授業に参加する				
13	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する				
14	業界研究③	ヘアメイク業界について、様々な視点から調べ、業界を理解する				
15	定期試験	入学してからを振り返り、後期に向けやるべきことを整理する				

科目名 (英)	おもてなし Omotenashi	年次	1	実務経験	担当	石田智子
		授業形態	講義			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2			
講師紹介	百貨店などの接客サービスの現場経験をもつ講師が、実体験を交えた講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学び取るために、グループワークを取り入れた体験参加型の講義を行うので、毎授業積極的に参加すること。					
目的 科目概要	接客業に携わるうえで、自分と自分の仕事に自信を持ち、お客さまとのコミュニケーションが得意で、お客さまのさまざまな要求や課題、問題に対処して解決できる社会人基礎力に優れた「おもてなしのプロ」を目指す。					
到達目標	資格検定教本を通して「おもてなしの心」「型とスキル」を体系的に学び、「おもてなしマスター」資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	おもてなしマスター資格検定教本		事前事後 学習と その内容 おもてなしのプロとしてふさわしい、笑顔、挨拶、姿勢、言葉づかいを常に意識すること			
教材						
特記事項	毎授業「教本」「筆記用具一式」を必ず持参すること。決められた座席に着席し、グループワーク等の際には速やかに席移動すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	講師自己紹介 科目オリエンテーション(授業ルール、評価、資格検定試験についてなど)
2	おもてなしとは何か・おもてなしの背景	日本におけるおもてなしの背景と事例紹介 グループワーク「おもてなし」とは何か
3	おもてなしの心3つと基本となる型	教本におけるおもてなしの心3つの解説と5つの型
4	型1 事前調査	事前調査の必要性 事前調査において「傾聴スキル」がなぜ必要かの解説とワーク
5	型2 時間管理	時間管理とは何か グループワーク「待った感」を感じさせない工夫
6	型3 環境設定	五感と季節を意識した、お客さまにとっての空間準備について考える
7	中間試験	中間試験実施、終了後の解説解答から自身の課題を抽出する
8	型4 場面演出	場面演出の目的とイベント演出、お客さまに演出内容をプレゼンテーションする グループワーク「わたしのオススメ」(プレゼンテーション)
9	型5 変化対応①	アサーション4つのタイプの解説とセルフチェック
10	型5 変化対応②	ポジティブシンキング、ストレスマネジメントについて グループワーク「ポジティブシンキング」
11	5つのどの型にも有効な共通スキル①	共通スキル(なぜなぜシンキング、KJ法)とは
12	5つのどの型にも有効な共通スキル②	共通スキル(エゴグラム、コーチング)とは
13	振り返り・まとめ	おもてなしマスター検定試験に合格するための、最終的な準備
14	過去問題及び記述問題対策	過去問題に取り組み自己採点する、課題を抽出する 記述問題対策に取り組む
15	定期試験(おもてなしマスター検定試験)	おもてなしマスター検定試験に合格する

科目名	メイクアップ総論 I (英) General Make up I	年次	1	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではメイクアップに必要な専門的な知識と技術の基礎を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を学ぶ。 科目概要:メイク基礎を学びJESKメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。					
到達目標	正しいメイクアップのマナーとセッティングの仕方を習得する 正しい化粧品の使用方法を理解し、限られた時間内でナチュラルメイクを仕上げることができる。 パーツごとにナチュラルメイクの正しい技術を習得することができる。 バランスの良いナチュラルメイクを仕上げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	Make up foundation 1	事前事後 学習と その内容	メイクアップは細かいプロセスが多いので、毎回必ずノートを取って欲しいです。			
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題を提出していただきます。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	マナー・セッティング・スキンケア	正しいセッティングの仕方を習得する メイクアップの様々なマナーを理解する スキンケアの手順を理解する
2	前回の復習/ベースメイク	セッティング～マナーの確認、スキンケア復習。正しいセッティングの仕方を習得する スキンケアの手順を習得する。 ベースメイクの種類と特長、作り方を理解する。
3	前回の復習/アイブロウ	スキンケア～ベースメイク復習。スキンケアの手順を熟練する。 ベースメイクの作り方を習得する。 アイブロウアイテムの種類と特長、描き方を理解する。
4	前回の復習/アイメイク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウ復習。ブラシを使ったアイシャドウの付け方、グラデーションの出し方、アイラインの引き方、ビューラーの使い方、マスカラの付け方を学ぶ。
5	前回の復習/リップ・チーク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウおよびアイメイク復習。アイメイクの仕方を習得する。 リップラインの描き方を理解する。 チークの付け方を学ぶ。
6	1～5回まで授業の振り返りと中間試験トレーニング	1～5回目までの総復習。時間に入ることと完成度のバランスを上げることを目指す。
7	中間試験	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
8	フルメイク	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
9	ゴールデンプロポーションとシェーディング	フェイスプロポーションを計測し顔のパーツの配置の違いを理解する。顔の黄金比を知り、美しいパーツ配置のバランスを理解する。ハイライトとシャドーによるベースメイクの立体感の付け方を学ぶ。
10	前回の復習/アイブロウの形を変えて描く	シェーディングを含めたベースメイク。過不足無い自然な立体感のあるシェーディングを習得する。自然に長く・短く、太く・細くするアイブロウの描き方を理解する。
11	JESKメイクアップ検定対策	JESKメイクアップ検定受験内容の説明・セッティング、身だしなみの確認・各パーツの仕上げ方 規定時間30分フルメイクの感覚を知る。
12	JESKメイクアップ検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
13	JESKメイクアップ検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
14	JESKメイクアップ検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として模擬試験を解いて本試験の傾向を把握する。
15	定期試験	フルメイク(30分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(30分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。

科目名 (英)	ヘアメイク I Hair Make I	年次	1	実務経験	担当	松尾/山崎/伊藤
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(木3・4)2組(木1・2)3組(木3・4)4組(木1・2)
講師紹介	スチール撮影を初め、様々な現場でキャリアを積み、長年の経験からプロとして活躍するために最も大事な基礎からスタイルづくりまで分かりやすくレクチャーするので積極的に授業に取り組んでほしい					
目的 科目概要	ヘアアレンジの基礎を習得するとともに様々なシーンで需要のある使えるヘアアレンジを学ぶ					
到達目標	基礎をしっかりと学びプロになるための土台をつくる。指定時間内に基礎となるヘアアレンジを完成させることができるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	プリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ヘアアレンジ基礎①	ポニーテールの作り方を学ぶ また結ぶ位置よっての印象 ポニーテールアレンジなど
2	カールアイロンの使い方、巻き方①	カールアイロンでフォワード(内巻き)の巻き方、工程を学ぶ
3	カールアイロンの使い方、巻き方②	カールアイロンでリバース(外巻き)(ミックス巻き)の巻き方、工程を学ぶ
4	カールアイロン×ポニーテール	ポニーテールの結び方を学ぶ また結ぶ位置よって印象の違いを学ぶ
5	編み込みテクニック	表編みを使ったスタイル/裏編みを使ったスタイル/フィッシュボーンスタイルを学ぶ
6	カールアイロン×編み込み	編み込みを使ったカールスタイル/ハーフアップなどを習得する
7	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
8	中間試験	指定時間内に編み込みを使ったヘアアレンジをつくる
9	ストレートアイロンの使い方①	ストレートアイロンの使い方・注意点を学び実践する/内巻きスタイル
10	ストレートアイロンの使い方②	ストレートアイロンで全頭波ウェーブ/波ウェーブハーフアップ
11	波ウェーブ×編み込み	ストレートアイロンで波ウェーブをつくり編み込みスタイルをつくる
12	ブロードライ①	ブロードライの基本スタイルを学ぶ
13	ブロードライ②	ブロードライの基本スタイルを習得する
14	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
15	定期試験	指定時間内にヘアアレンジをつくる

科目名 (英)	ネイルケア & アート Nail Care & Art	年次	1	実務経験	担当	石澤 美沙
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(水1・2)2組(水3・4)3組(木1・2)4組(木3・4)
講師紹介	トータルビューティーサロンにて、メイクアップ、ネイル、エステティック、アイラッシュを担当。技術、販売など接客に加えてスタッフの育成に貢献してきたのち、フリーランスのビューティシャンとして顧客へのサービスを提供する傍ら、専門学校において11年間の講師経験をもつ教員が、ヘアメイクを目指すために必要な基礎的専門知識、技術を習得するための授業を行う					
目的 科目概要	目的:7/17(日)のJNECネイリスト技能検定試験3級に合格する 科目概要:衛生的かつ効率的に施術をするためのテーブルセッティング、各種道具の扱い方を覚えたのち、2人1組での相モデルの体制で施術者、モデルの観点からネイルケア、ポリッシュカラーリング、フラットアートを学ぶ。					
到達目標	ヘアメイクに必要なネイルの基礎を身につける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック			事前事後 学習と その内容	技術においては知人・家族などへモデル協力を依頼し、可能な限り反復練習をすることが望ましい。また、デモンストレーションの際にはテキストにはない要点の説明や注意事項を交えて行うため、メモを取り、事後学習に役立てて欲しい。	
教材	ネイル教材一式/はさみ					
特記事項	欠席、遅刻がないよう自己管理を徹底するとともに、学生同士の道具の貸し借りは一切行わず、忘れ物は減点対象とする					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	教材確認と下処理/テーブルセッティング/ファイリング	・配布された道具の名称と用途を確認し、すぐに使用できる状態への下処理をする ・衛生的・効率的に作業するためのテーブルセッティングを覚える ・ファイリング～色々なカットスタイルを覚える
2	ネイル概論/ファイリング	・ネイルの歴史/技術体系/爪の構造と動き ・道具の正しい持ち方、動かし方を習得し、10本揃ったファイリングが出来るようになる
3	ネイル概論/キューティクルクリーン	・ネイルの皮膚科学/ネイルケアの手順について学ぶ ・プッシュアップ、バックとキューティクルニッパーの扱いが出来るようになる
4	キューティクルクリーン復習	・キューティクルクリーンの苦手を克服する ・ネイルケアの流れを把握する
5	ネイルケア	・ファイリング～ニッパーまで、ケアを通して出来るようになる
6	ネイル概論/カラーリングとポリッシュオフ	・爪や皮膚の病気とトラブル/消毒法 ・カラーリング及びポリッシュオフの手順とポイントを覚える
7	中間試験(実技)/検定概要説明	・ネイルケア(相モデル) ・検定について
8	カラーリング/トールペイント ※課題提出	・美しいカラーリングが出来るようになる ・カラーリング&オフの復習 ・ブラシワーク及びアクリル絵の具を使ったフラットアートの基本形を習得する
9	ケアカラー/検定対策アート	・ケアカラー(相モデル) ・フラワーアートが出来るようになる
10	ケアカラータイムトライアルⅠ/筆記対策	・アートを含めたカラーリングをタイムを意識して仕上げられるようになる ・筆記模擬試験 ※検定用シール貼り
11	ケアカラータイムトライアルⅡ/筆記対策	・アートを含めたカラーリング をタイムを意識して仕上げられるようになる ・筆記模擬試験 ※検定用シール貼り
12	ナチュラルカラー	・オーダーの多いナチュラルカラーの塗布のコツを学ぶ
13	ケアカラー	・定期試験に向けたケアカラーのトレーニング(タイムトライアル)
14	定期試験Ⅰ(実技)	・ケアカラー(ポリッシュオフ込み) ※試験Ⅱで施術をする学生がモデル
15	定期試験Ⅱ(実技)	・ケアカラー(ポリッシュオフ込み) ※試験Ⅰで施術をする学生がモデル

科目名 (英)	メイクアップ I make up I	年次	1	実務経験	担当	CAA(高岸・原口・鷺塚・福田)
		授業形態	講義・演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所のアーティストを務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	ナチュラルメイクとメンズメイクの技術・知識を身につける。					
到達目標	時間内にナチュラルフルメイク・メンズメイクを仕上げる事が出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料	事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にヘア・メイクセッティングをしてください。終了後は全員で消毒と清掃を行います。			
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・セッティング・マナー・スキンケア	セッティングやモデルへのマナー、ブラシの清掃、化粧水～乳液までの知識と技術を習得
2	スキンケア～ベースメイク	スキンケアの復習下地、リキッドファンデーション、フェイスパウダーまでの知識と技術を習得
3	コントロールアイテム・ファンデブラシ	コントロールカラー、コンシラーの知識とベースメイクまでの技術を習得
4	ハイライト・ローライト	骨格の意識して肌の凹凸を作る技術を習得
5	アイブロウ①	ベースメイクの復習とアイブロウのスタンダード型を習得
6	アイブロウ②(中間試験対策)	アスキンケア～ベースメイク～アイブロウ(パウダー・ペンシル・マスカラ)までを習得
7	中間試験	骨格の立体感を意識してベースメイク・アイブロウを仕上げる
8	アイメイク①	ベースメイク・アイブロウ復習、アイシャドウ・アイライナー・マスカラの知識と技術を習得
9	アイメイク②	前回のアイメイクまでの復習、アイメイクのグラデーションパターンを実習
10	チーク・リップ	ベースメイク～アイメイク復習、チークとリップの知識と技術を習得
11	メンズメイク	メンズメイク特徴・パターンを理解し実習
12	ナチュラルフルメイク①	ナチュラルフルメイク①を30分で仕上げる
13	ナチュラルフルメイク②	ナチュラルフルメイク②を30分で仕上げる
14	定期試験対策	フルメイクを30分以内で仕上げることを習得
15	定期試験対策	フルメイク30分

科目名 (英)	ヘアスタイリング I Hair Styling 1	年次	1	実務経験	担当	小野寺 舞
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	ヘアメイクアーティストとして様々な現場を経験し、現在は事務所の代表を務めながら現役としても自身の技術を雑誌で紹介する等、活動しております。スタイルを作る方法は様々なので、皆さんそれぞれに合った学び方で技術を習得出来るようお伝えします。					
目的 科目概要	目的:ヘアアレンジ、を行う為に必要な基礎技術、道具の使い方を学ぶ。概要:この科ではウィッグを使い実際に自身の仕上がりを確認することにより、回数を重ね基礎技術を身に付ける。全てのアレンジを行う上で欠かせない共通する技術である。					
到達目標	ヘアアレンジの基礎テクニックを習得し、さまざまなアレンジに応用することが出来る。技術者としてのマナー、心構えを習得する。専門的な知識を学び、指定された技術をスムーズに作る事が出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	プリント		事前事後学習とその内容 実習後、次の授業までに復習し、より確実に身に付ける事が望ましい。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項	実技がメインとなる授業の為、遅刻欠席は出来るだけせず、毎授業において手順等の内容は必ずメモを取り復習すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	道具の使い方・スライス・ゴムの結び方	この授業での今後の流れを把握し、目標を立てる。道具の使い方や名称を覚え、扱いに慣れる
2	復習・ピン打ち・ブロッキング	前回は行った技術を復習(ブロー・スライス・ゴム)し習得する。新たに学んだ技術のやり方を覚え習得に繋げる。
3	アップスタイル	前回は行った技術を復習(ブロー・ピン打ち・ゴム)し習得する。基礎技術を応用し、簡単なアップスタイル(お団子)の技術を身に付ける。
4	復習・編み込み①・ツイスト	前回は行った技術を復習(ブロー・ピン打ち・ゴム・コテ巻き)し習得する。新たに学んだ技術のやり方を覚え習得に繋げる。
5	復習・編み込み②	前回は行った技術を復習(ブロー・ピン打ち・ゴム・編み込み)し習得する。新たに学んだ技術のやり方を覚え習得に繋げる。
6	1～5回までの復習・試験対策	前回までの技術を復習し、苦手な箇所を確認する。中間試験に向けて技術向上につなげる
7	中間試験	7回目までの技術習得度を確認する。フィードバックから今後の目標を立てる
8	ホットカーラー・抱き合わせ	夜会巻きを作るベース作りを学ぶ。新たにロールブラシでのブローを習得する
9	復習・夜会巻き①	前回は行った技術を復習(ブロー、ホットカーラー)し習得する。新たに学んだ夜会巻きの基礎技術を覚え習得に繋げる
10	復習・夜会巻き②	前回は行った技術を復習(ブロー、ホットカーラー、夜会巻き土台作り)し習得する。新たに学んだ夜会巻きの基礎技術を覚え習得に繋げる
11	復習・夜会巻き③	前回は行った技術を復習(ブロー、ホットカーラー、夜会巻きベース作り)し習得する。新たに学んだ夜会巻きの基礎技術を覚え習得に繋げる。
12	ハーフアップスタイル・ダウンスタイル	前回までの技術を生かし、ハーフアップスタイルを仕上げる
13	アップスタイル	前回までの技術を生かし、アップスタイルの作成
14	復習・夜会巻き④・試験対策	前回までの技術を復習し、苦手な箇所を確認する。定期試験に向け技術向上、スピードアップに繋げる
15	定期試験	14回目までの技術習得度を確認する。フィードバックから後期の目標を立てる

科目名 (英)	着付く(初伝)〈中伝〉 Kimono Dressing	年次	1	実務経験	担当	岡野暢子・大原洋子
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(木1・2)2組(木・4)3組(火3・4)4組(1・2)
講師紹介	長年和装の着付技術の指導にあたり、自らも和装ブライダル等の現場を経験してきた山野流着装 奥伝師範講師より、日本の誇れる文化である着物の冠婚葬祭での基礎知識をわかりやすく解説し、伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる上質の和装着付の技術をお伝えします。					
目的 科目概要	目的:器具等を使用しないどのような現場でも通用する着付技術を学ぶ。山野流着装(初伝)〈中伝〉資格取得を目標とする。 概要:前半では着物に親しみ浴衣から小紋までを一人で着る着付の基礎を学び、後半ではミスの第一礼装の振袖、ミセスの第一礼装の留袖の知識と格式にあった着付技術を学ぶ。					
到達目標	〈初伝〉 ・1人で着る着付:小紋の着付と名古屋帯のお太鼓結び ・着物の本たたみと長じゅばんののたたみ方		〈中伝〉 ・お客様の着付:ミセスの第一礼装 ・黒留袖の着付と袋帯で結ぶ二重太鼓の帯結び ・着物の本たたみ			
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	一般財団法人国際美容協会発行 着物着つけ教本			事前事後 学習と その内容	着物に関してはほとんどの方が初めて見聞きするものが多いはず です。 事前に教科書・インターネット等で夏の浴衣やこれから迎える成人式 の振袖を調べてイメージしてみましょう。 事後は教科書を復習し着物の名称を正しく覚えましょう。	
教材	学校貸出:浴衣・小紋・細帯・名古屋帯・長襦袢・帯揚げ・帯締め					
特記事項	資格取得を目標とする科目により全日出席してください。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	浴衣の歴史・知識の説明	着物の名称を覚える 下着・紐・小物の使い方を覚える 着付前の準備の仕方 浴衣の着付の展示説明
2	浴衣の着付と帯結び	着付前の準備の仕方 復習 浴衣の着付と帯結び P17～P29 浴衣の本たたみ
と	小紋と名古屋帯の知識	着付前の準備 足袋・下着・タオル・肌着の着付 長襦袢の着付(伊達締めまで) 長襦袢のしまう時のたたみ方説明→実技
4	名古屋帯・小紋の準備の仕方・小紋の着付	準備の仕方 小紋の着付(伊達締めまで) 実習 長襦袢と小紋のしまう時のたたみ方
5	小紋の着付と帯結び	準備の仕方から小紋の着付(伊達締めまで) 実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び-展示同時実習
6	小紋の着付と名古屋帯で結ぶ一重太鼓の帯結び	準備の仕方から小紋の着付(伊達締めまで) 実習 名古屋帯の一重太鼓の帯結び帯締め・帯揚げの整え方 展示同時実習
7	着付総仕上げ 小紋の着付と名古屋帯の一重太鼓の帯結び	小紋の着付と名古屋帯で結ぶ一重太鼓の帯結びを仕上げる 長襦袢と着物の本たたみ
8	中間試験(初伝資格試験) 準備の仕方から一人で着る着付 衣装のしまい方まで	小紋の着付と名古屋帯で結ぶ一重太鼓の帯結びを帯締め・帯揚げまで仕上げる 着物の本たたみと長襦袢のたたみ方まで
9	ミスの第一礼装・振袖について	ミスの第一礼装・振袖についての知識を覚える 体型補正～長襦袢の着付～振袖の 着付まで P84 展示同時実習 2人1組相モデル 振袖のしまう時のたたみ方
10	ミスの第一礼装・振袖について	振袖の着付と帯結び・二枚扇の結び方を覚える 展示同時実習 2人1組相モデル
11	ミスの第一礼装・振袖について	振袖の着付と袋帯使用の二枚扇の帯結び 2人1組→交代して仕上げる
12	ミセスの第一礼装・留袖について	ミセスの第一礼装・留袖についての知識を覚える 黒留袖の着付(伊達締めまで)展示の実習 2人1組相モデル
13	ミセスの第一礼装・留袖について	黒留袖の着付と帯結び・袋帯使用の二重太鼓 2人1組相モデル
14	着付総仕上げ:お客様の着付	ミセスの第一礼装・黒留袖の着付と二重太鼓 礼装用の帯あげと帯じめの整え方 2人1組交代で実習 仕上げる
15	定期試験 中伝資格試験	実技試験:お客様の着付け(第一礼装) 黒留袖の着付と袋帯使用の二重太鼓を仕上げる 2人1組相モデル

科目名 (英)	アシスタントプログラム I Assistant program I	年次	1	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組2組(月3・4)3組4組(月1・2)
講師紹介	ヘアメイク事務所ビーサイド代表。数多くの現場経験を持ち、また多くのヘアメイクを輩出していた講師が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する					
目的 科目概要	在学中からプロの現場でアシスタント業務ができるよう応用までわかりやすレクチャーする					
到達目標	アシスタントワークの基本を理解できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介(座学)	各自が夢の共有を行う
2	業界理解	ヘアメイク全般について(座学)
3	業界理解	広告業界について(座学)
4	業界理解	雑誌・出版業界について(座学)
5	お直し道具について	ヘアメイクデモンストレーション(座学)
6	アシスタントワーク	アシスタントの動き(ロールプレイ)(実技)
7	アシスタントワーク	現場でのネイル・ハンドマッサージについて(実技)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 II Career Development II	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子/安中 松太郎
		授業形態	講義			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	30	開講区分	後期	
		単位	2			
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にする。プロになるために自己管理が出来るようになる。					
到達目標	プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることができる 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出すことができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of LIFE STYLE	事前事後 学習と その内容	●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。			
教材	手帳(スケジュールがわかるもの)・筆記用具・ポートフォリオ					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ワクワクホーム	情報がたくさんある時代に必要な情報だけを集められるようになる。
2	就職スケジュール・履歴書・面接対策	就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。
3	自己紹介の練習	自己紹介の練習を行い、他人から見た自分の姿を把握する。
4	履歴書の免許・資格の書き方	履歴書の免許・資格の書き方を理解し、求人票の見方を学ぶ。
5	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
6	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
7	中間試験	面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
8	面接対策	面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
9	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
10	面接ロールプレイ	実際に面接を行い、自分の言葉でアピールできるようになる。
11	面接ロールプレイ	実際に面接を行い、自分の言葉でアピールできるようになる。
12	電話のかけ方	電話のかけ方を学び、印象の良い電話対応が出来るようになる。
13	面接先や説明会会場での所作	面接先や説明会会場での所作を学び、印象の良い対応が出来るようになる。
14	就職対策	春休みの就職活動について理解し、主体的に活動するための手段を理解知る。
15	定期試験	履歴書の完成を通して、就職活動の準備を整える。

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅱ General Make Up II	年次	1	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格を取得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ資格を取得する。4シーズンのメイクアップの特徴を理解し習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト		事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。		
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	4シーズンカラー スプリング	①色彩学 4シーズンカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。
9	4シーズンカラー サマー	②色彩学 4シーズンカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。
10	4シーズンカラー オータム	③色彩学 4シーズンカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。
11	4シーズンカラー ウィンター	④色彩学 4シーズンカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。
12	ヒューマンカラーチェック	色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ビビット・ソフト を理解し診断する。
13	パーソナルカラーチェック	カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。
14	期末試験対策:4シーズンカラー	実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイクの理解と対策
15	期末試験:4シーズンカラー	実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイク

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	1	実務経験	担当	NH
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分	後期
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語：海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語：言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉を話せるようになる。					
到達目標						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians	事前事後 学習と その内容	自宅で予習・復習を行うこと。			
教材						
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。先生が板書した内容を丁寧にノートに取ること。積極的に授業に参加してください。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	【韓国語】 ハングルを理解しよう	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる 身の回りのハングルを読めるようになる
2	【韓国語】 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
3	【韓国語】 日常会話で使えるフレーズ	普段使える簡単なフレーズを学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
4	【韓国語】 流行しているヘアメイク	韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
5	【韓国語】 コミュニケーションをとろう	学んだフレーズを使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
6	【韓国語】復習	定期テストに向けて復習を行う
7	【韓国語】中間試験	中間試験
8	【英語】挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
9	【英語】電話対応/飛び込み客	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる 飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
10	【英語】お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
11	【英語】道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
12	【英語】会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
13	【英語】施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	【英語】復習	定期テストに向けて復習を行う
15	【英語】定期試験	定期試験

科目名 (英)	スチールヘアメイク I	年次	1	実務経験	担当	松尾 友湖
	Still Hair Make I	授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	月曜 1.2限/3.4限
講師紹介	テーブルカンパニー所属。ヘアメイクとして長いキャリアを持つ現役のヘアメイクが分かりやすく現場で使えるスチール撮影に使える知識やテクニックをレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	様々なテーマから自分でアイデアを考え、コンセプトシートをまとめることができる。自分自身のオリジナリティー溢れるヘアメイクの作品を制作する					
到達目標	コンセプトシート⇒デッサン⇒モデルのヘアメイクテスト⇒写真撮影 の流れをしっかりと理解する また撮影メイクを経験し、写質の高いヘアメイクの作品を残す					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	コンセプトシート					
特記事項	中間試験20点 定期試験50点 その他小テスト30点 配点とする					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スチールヘアメイクとは	コンセプトの立て方・デザインワーク・作品の見せ方を学ぶ
2	スチールメイクアップ①	メイクアップを主役としたスチール撮影(何を見せたいのかをしっかりと表現する)
3	スチールメイクアップ②	メイクアップを主役としたスチール撮影(何を見せたいのかをしっかりと表現する)
4	ヘアスタイリング撮影①	ヘアスタイリングを主役としたスチール撮影(何を見せたいのかをしっかりと表現する)
5	ヘアスタイリング撮影②	ヘアスタイリングを主役としたスチール撮影(何を見せたいのかをしっかりと表現する)
6	中間試験対策	衣装やイメージカット割りを組み立て、撮影イメージのシュミレーション
7	中間試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り 前半組 (1人1作品)
8	中間試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り 後半組 (1人1作品)
9	SS Collection	春夏のコレクションをテーマに、ブランドのメイクを模写
10	AW Collection	秋冬のコレクションをテーマにブランドのメイクを模写
11	Creative Collection	コレクションをテーマに、年代やブランド問わず、コンセプト及び自分で考えたデザインを作る(チーム制作)
12	Creative Collection	コレクションをテーマに、年代やブランド問わず、コンセプト及び自分で考えたデザインを作る(チーム製作)
13	期末試験対策	衣装やイメージカット割りを組み立て、撮影イメージのシュミレーション
14	定期試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り 前半組
15	定期試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り 後半組

科目名 (英)	デザイントレーニング Design Training	年次	1	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(火3・4)2組(月1・2)3組(月3・4)4組(金3・4)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではメイクアップに必要な専門的な理論と技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	デザイントレーニング					
到達目標	形・色・質感を変化させ組み合わせることで様々なメイクアップデザインを作り上げることができる。 限られた時間内で様々なメイクアップを仕上げるができる。 様々なメイクアップ表現に必要な専門的な技術を習得することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容			
教材	学校指定のメイク教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題の提出をしていただきます。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	フルメイク	フルメイクをしてみて今の段階での得意・不得意を知ることができる。
2	形にこだわる「直線メイク」	メイクアップで各パーツの直線的なラインの描き方を習得する。
3	形にこだわる「曲線メイク」	メイクアップで各パーツの曲線的なラインの描き方を習得する。
4	形にこだわる「上昇メイク」	メイクアップで各パーツの上昇的なラインの描き方を習得する。
5	形にこだわる「下降メイク」	メイクアップで各パーツの下降的なラインの描き方を習得する。
6	中間試験演習 フルメイク	形にこだわったフルメイクを時間内に仕上げるができる。 各パーツを正しく仕上げるができる。 中間試験の注意点を確認する。
7	中間試験 フルメイク	フルメイクを時間内に仕上げるができる。 各パーツを正しく仕上げるができる。【配点20点】
8	質感にこだわる「ツヤ質感メイク」	メイクアップにおけるツヤの質感を表現するテクニックを習得する。 メイクのイメージの違いに合わせて質感を選択することができる。
9	質感にこだわる「マット質感メイク」	メイクアップにおけるマットの質感を表現するテクニックを習得する。 メイクのイメージの違いに合わせて質感を選択することができる。
10	色彩にこだわる「多色グラデーションメイク」	多色を使って美しいグラデーションメイクをデザインする。
11	色彩にこだわる「多色ブロッキングメイク」	多色を使ったブロッキングメイクをデザインする。
12	素材にこだわる「異素材メイク」	様々な素材を使ってメイクアップデザインを作る。
13	オリジナリティにこだわる「デザインメイク」	今まで学んだデザイン表現を活かし、オリジナリティのあるメイクアップでざいんをつくる。 デザイン画を描く。
14	定期試験の練習	デザイン画をもとにメイクアップを仕上げる。 時間内にフルメイクができるスピーディに仕上げる技術を習得する。 定期試験の注意事項を確認する。
15	定期試験	自らデザインしたメイクアップを美しく再現する。 時間内でフルメイクができる【配点50点】

科目名 (英)	ヘアスタイリングⅡ Hair Styling 2	年次	1	実務経験	担当	小野寺 舞
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4			
講師紹介	ヘアメイクアーティストとして様々な現場を経験し、現在は事務所の代表を務めながら現役としても自身の技術を雑誌で紹介する等、活動しております。スタイルを作る方法は様々なので、皆さんそれぞれに合った学び方で技術を習得出来るようお伝えします。					
目的 科目概要	ヘアアレンジする為の様々なヘアスタイルの種類を学び、応用のヘア技術を習得する。スタイルの幅を広げデザイン力を身に付ける。					
到達目標	実用性～ファッション性の高いヘアスタイルを学び自分自身及びお客様までのトータルバランスをイメージ出来るようになる。ヘアアレンジの技術力、表現力を身に付ける。ファッション性の高いヘアスタイルを作る事が出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	プリント			事前事後 学習と その内容	実習後、次の授業までに復習し、より確実に身に付ける事が望ましい。	
教材	ヘア道具一式					
特記事項	実技がメインとなる授業の為、遅刻欠席は出来るだけせず、毎授業において手順等の内容は必ずメモを取り復習すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ダウンスタイル～アップスタイル①	基礎技術演習を行い、ヘアテクニックの基礎を再確認してスタイルを仕上げる(3パターン)
2	ホットカーラーアップスタイル	ホットカーラーを使いスタイルを仕上げる 仕上がりの違いを理解する
3	ダウンスタイル～アップスタイル②	技術の応用を使い、バランスを考えてスタイルを仕上げる(3パターン)
4	雑誌別ヘアアレンジ	雑誌の系統、特徴を理解し、それに合わせたスタイルを仕上げる
5	作り方を考える	グループワークで行い、イラストのスタイルから作り方を考え、同様に仕上げる
6	相モデル実習①	一人3スタイルを提案してスタイルを完成させる
7	中間テスト	テーマに合わせて応用技術を使いスタイルを作成する
8	年代風別ヘアアレンジ	年代別の流行を理解し、スタイルを仕上げる
9	ファッションヘア	テーマに合わせて自由なヘアスタイルを作成する
10	相モデル実習②	お互いの要望に合わせたスタイルを仕上げる
11	表面をデザインする①	デザイン性の高いスタイルを学んでスタイルを作成する イラスト含む
12	表面をデザインする②	デザイン性の高いスタイルを学んでスタイルを作成する イラスト含む
13	クリエイティブヘア①	アートなスタイルを学び作成する イラスト含む
14	クリエイティブヘア②	アートなスタイルを学び作成する イラスト含む
15	期末テスト	今まで学んだ事を活かして各自テーマをつけて自由にヘアスタイルを作成する

科目名 (英)	メイクアップⅡ Make Up Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	高岸 祐一
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	目的:メイクアップデザインに関する専門的な理論と技術を学び、メイクアップイメージを作り上げる。科目概要:形・色彩・質感を持つイメージを学び、それを組み合わせることでメイクアップイメージを表現できることを理解する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のプロンズ資格を取得する。4シーズンのメイクアップの特徴を理解し習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JESCメイクアップ基礎			事前事後 学習と その内容	授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	質感① ツヤ肌	質感①:ツヤ肌の道具・仕上がりを理解しメイクを習得する。
2	質感② マット肌	質感②:マット肌の道具・仕上がりを理解しメイクを習得する。
3	質感③ パール・ラメ・グリッター・グロッシー	質感③パール・ラメ・グリッター・グロッシーの道具・仕上がりを理解しメイクを習得する。
4	形①直線	形①:直線的なメイクアップのデザインを理解しメイクを習得する。
5	形②曲線	形②:曲線的なメイクアップのデザインを理解しメイクを習得する。
6	中間試験対策 フルメイク(ツヤ肌・直線)	中間試験対策:ツヤ肌・直線的なメイクアップデザインを習得する。
7	中間試験 フルメイク(ツヤ肌・直線)	中間試験:ツヤ肌・直線的なメイクアップデザイン
8	Yベース・Bベース	イエローベース・ブルーベースを理解しメイクを習得する。
9	上昇・下降	上昇メイクと下降メイクの特徴とデザインを理解しメイクを習得する。
10	トーン:ライト・ディープ	ライトトーン・ディープトーンの特徴を理解しメイクを習得する。
11	イメージメイク①キュート	質感・形・トーンでキュートメイクを習得する。
12	イメージメイク②クール	質感・形・トーンでクールメイクを習得する。
13	イメージメイク③エレガント	質感・形・トーンでエレガントメイクを習得する。
14	期末試験対策:イメージメイク	実技試験:イメージメイクで40分フルメイクの対策
15	期末試験:イメージメイク	実技試験:イメージメイクで40分フルメイク

科目名 (英)	アシスタントプログラム II Assistant program II	年次	1	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組2組(月3・4)3組4組(月1・2)
講師紹介	ヘアメイク事務所ビーサイド代表。数多くの現場経験を持ち、また多くのヘアメイクを輩出していた講師が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する					
目的 科目概要	在学中からプロの現場でアシスタント業務ができるよう基礎をわかりやすレクチャーする					
到達目標	アシスタントワークの応用を理解できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	アシスタントワーク	現場での動き(座学)
2	業界理解	音楽業界について(座学)
3	業界理解	TV業界について(座学)
4	業界理解	ドラマ・映画業界について(座学)
5	撮影①	作品撮影について(座学)
6	撮影②	撮影実習プレゼン(座学)
7	まとめ)	ヘアメイクの就職活動について(座学)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		